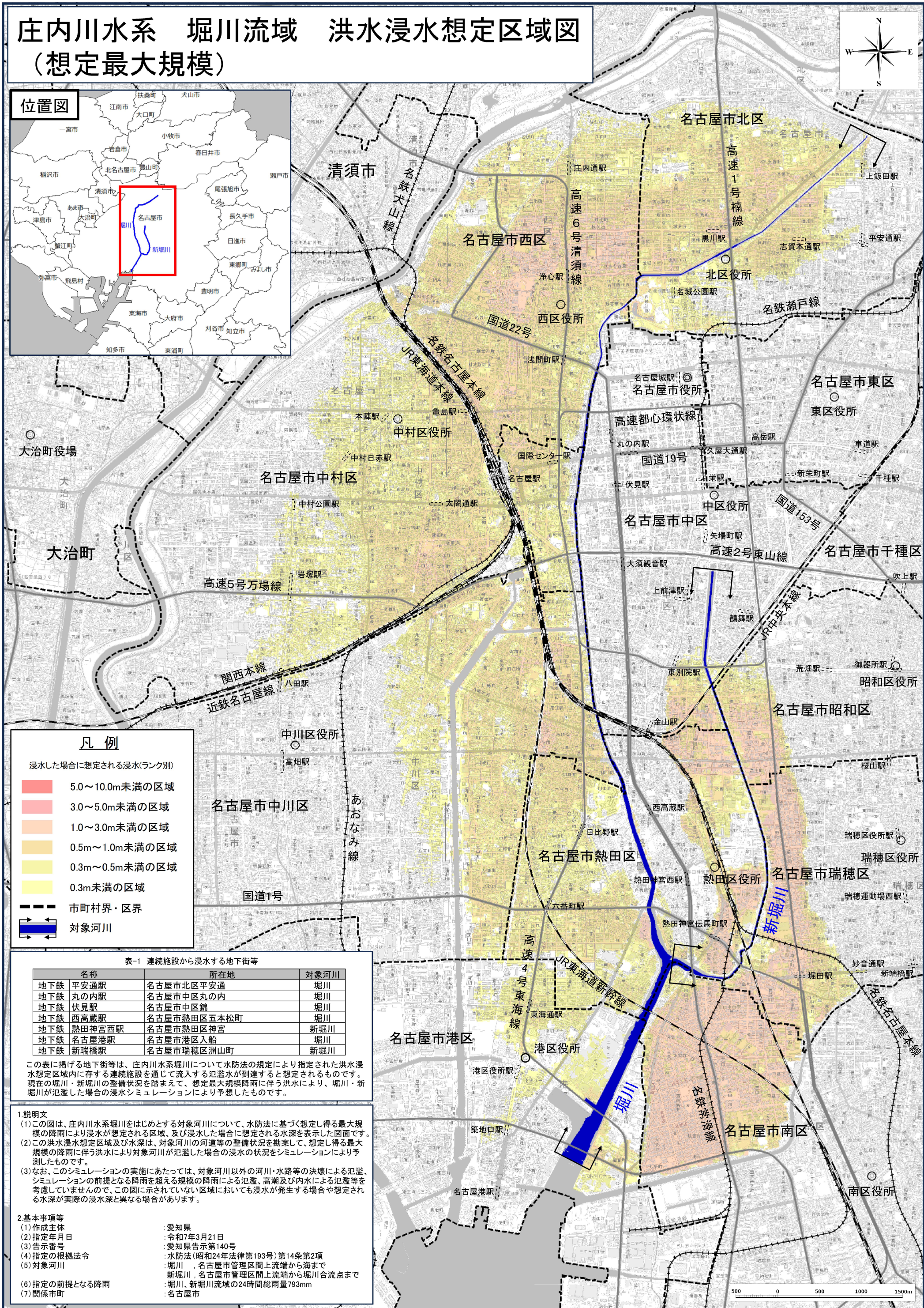


庄内川水系 堀川流域 洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)

位置図



凡例

浸水した場合に想定される浸水(ランク別)

- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 1.0～3.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

- 市町村界・区界
- 対象河川

表-1 連続施設から浸水する地下街等

名称	所在地	対象河川
地下鉄 平安通駅	名古屋市北区平安通	堀川
地下鉄 丸の内駅	名古屋市中区丸の内	堀川
地下鉄 伏見駅	名古屋市中区錦	堀川
地下鉄 西高蔵駅	名古屋市熱田区五本松町	堀川
地下鉄 熱田神宮西駅	名古屋市熱田区神宮	新堀川
地下鉄 名古屋港駅	名古屋市港区入船	堀川
地下鉄 新瑞橋駅	名古屋市瑞穂区洲山町	新堀川

この表に掲げる地下街等は、庄内川水系堀川について水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域内に存する連続施設を通じて流入する氾濫水が到達すると想定されるものです。現在の堀川・新堀川の整備状況を踏まえて、想定最大規模降雨に伴う洪水により、堀川・新堀川が氾濫した場合の浸水シミュレーションにより予想したものです。

1.説明文

- この図は、庄内川水系堀川をはじめとする対象河川について、水防法に基づく想定し得る最大規模の降雨により浸水が想定される区域、及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域及び水深は、対象河川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により対象河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の河川・水路等の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2.基本事項等

- 作成主体 : 愛知県
- 指定年月日 : 令和7年3月21日
- 告示番号 : 愛知県告示第140号
- 指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- 対象河川 : 堀川(名古屋市管理区間上流端から海まで)
新堀川(名古屋市管理区間上流端から堀川合流点まで)
- 指定の前提となる降雨 : 堀川、新堀川流域の24時間総雨量793mm
- 関係市町 : 名古屋市